

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 22 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '水道給配水施設維持管理事業' and '上水道の整備'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes description of water supply maintenance and monitoring.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図 and various indicators (活動指標, 対象指標, 成果指標) with values for 28, 29, 30, 31, 32 years.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing input costs (事業費) by source (国庫, 県, 地方債, etc.) and personnel costs (人件費) for 28, 29, 30 years.

Table showing internal costs (事業費の内訳) for 29 and 30 years, including '13 委託料' and a total of 21,187.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 30, 31, and 32 years. Includes a note about recording content and a list of main activities.

事務事業名	水道給配水施設維持管理事業	事務事業No.	50601000599	所属課	水道課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 適正な配水管の維持管理により水道水を安定して供給するとともに、公道上の陥没事故等を未然に防止する。 住宅・アパートの建築に伴っての給水件数の増加に伴い、管理する配水管についても同じように毎年増加してきている。 桜川市水道事業は、経過年数に伴う老朽管などの漏水も増加している。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特にありません。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 改革改善を行う 漏水早期発見のための配水施設の監視強化。また監視に必要な機器が老朽化等により作動不良となっている施設が多く存在するため、早急な機器類の修繕及びメンテナンスを実施する必要がある。	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 結びついている 安心安全な水を安定して送ることにより市民が安心して暮らせることは、基本事業の上水道の安定供給及び施設の適正管理に結び付く。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) 妥当である 市が経営するものと規定されている。水道料金により運営されているため税金は投入されていない。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 向上余地がある 事業をしていくうえで必要な維持管理であるため。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 影響有 安定供給するには必要であり、給水できなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 余地がない 類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) 削減余地がない 施設の劣化が年々著しく維持管理は増大している。現状では一部は委託しているが、人件費を削減するには委託料が莫大になるため。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 公正・公平である 料金査定に組込まれている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 □ 適切 ■ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 現在、一日最大給水量16,640m3計画として事業を実施しているが、そのうち県営用水供給事業により9,500m3/日を受水し、残りについては、市内に9ヵ所ある取水施設から茨城県より一日最大採取量7,720m3の許可を得て採取している。																						
(3) 今後の事業の方向性 □ 終了 ■ 継続 □ 改革改善を行う → (複数回答可) □ 廃止 □ 休止 □ 現状維持 (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる)		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) 成果マトリックス: <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果 ⑦																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---